

# 【別紙3】新幹線、高速道路をまたぐ橋梁の耐震補強3箇年プログラム

## 1. プログラムの策定

各道路管理者、鉄道事業者等と整備方法や工程を協議し、3箇年で耐震補強を概ね完了させるためのプログラムを策定。（H17～H19）

## 2. 地方道路整備臨時交付金の活用による事業推進

地方道路整備臨時交付金制度の柔軟性を活かし、耐震補強を重点化。

## 3. 技術的支援

国土技術政策総合研究所及び独立行政法人土木研究所の協力によるアドバイザー体制を確立し対象橋梁の確認や対策工法の選定等について技術支援を実施。

円滑な事業執行のため、鉄道事業者へ協議の迅速化等を協力要請。

### 新幹線をまたぐ橋梁（跨線橋）

道路種別	要対策橋梁数 [橋]	平成16年度末時点		平成19年度末時点(見込)	
		実施数[橋]	実施率[%]	実施数[橋]	実施率[%]
直轄国道	24	14	58.3%	24	100%
補助国道	7	3	42.9%	7	100%
都道府県道	30	10	33.3%	30	100%
市町村道	203	66	32.5%	203	100%
合計	264	93	35.2%	264	100%

### 高速道路をまたぐ橋梁（跨道橋）

道路種別	要対策橋梁数 [橋]	平成16年度末時点		平成19年度末時点(見込)	
		実施数[橋]	実施率[%]	実施数[橋]	実施率[%]
直轄国道	22	20	90.9%	22	100%
補助国道	25	22	88.0%	25	100%
都道府県道	159	139	87.4%	159	100%
市町村道	642	536	83.5%	642	100%
合計	848	717	84.6%	848	100%

(注1)要対策橋梁数とは、平成7年兵庫県南部地震等での橋梁の被災実態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要のある橋梁の数である。

(注2)実施数とは、耐震補強を実施済の橋梁及び一部実施済の橋梁の数である。

(注3)新幹線とは、東北、秋田、山形、上越、長野、東海道、山陽、九州の各新幹線をさす。

(注4)高速道路とは、高速自動車国道、首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡道路、指定都市高速をさす。

(注5)上記の3箇年プログラムの表は、平成18年3月1日現在で整理したものであり、今後、必要に応じ見直しを行っていることとしている。